

〔優良賞〕 人工呼吸器用マスク「ジャバラ」



代表取締役社長
玉城 方丈 氏

株式会社iDevice

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-11-4-1000

TEL.06 (7178) 3590

<https://www.med-idevice.com/>

圧力単位で2mmHgという極めて低圧で顔に追従して変形密閉できる蛇腹構造の人工呼吸管理専用マスク。循環器内科専門医の原正彦会長が、心不全患者の呼吸管理に伴う医療課題解決を目的に開発した。急性呼吸不全の非侵襲的陽圧換気療法や、睡眠時無呼吸症候群などの持続陽圧換気療法に用いる。

従来のマスクは圧損傷の可能性が生じる35mmHg以上の圧力で顔に密着させていた。顔とマスクの形が合わず空気漏れによる治療中断が起きたり、顔に強く押し当てることで圧損傷が起きたりすることが未解決医療課題となっていた。

ジャバラは極めて柔らかい医療用シリコンを用い、鼻の部分に鼻溝構造を備え、顔に近づくほどシリコンが薄くなるよう成形し、困難とされてきた低圧密閉を可能にした。

従来品に比べ空気漏れが少なく、集中治療室で人工呼吸器のアラームが減り、医療現場の作業負担が軽減する。圧損傷による褥瘡（じょくそう）の発生が防げるとともに、患者のマスク装着の不快感も減り、治療期間の短縮につながる。また従来品は顔の形状に応じて数サイズを用意する必要があったが、ジャバラは1サイズで済む。患者、医療現場双方にメリットをもたらす。使用後、滅菌処理することでリユース可能な設計で環境負荷を軽減する。消費税抜き価格は4万5000円で、従来品の1.5-3倍に相当するが、患者、医療機関の負担軽減も含めトータルコストは安くつくという。

